

最低制限価格 算定方法ごとの制度比較・評価

制度・種類ごとの概要			評 価
固定型	設計額の各内訳に固定の割合を乗じて、入札前に予め算出する方法	<p>国の基準どおりに設定 三条市、柏崎市等</p> <p>$\text{＝直接工事費} \times 0.97 + \text{共通仮設費} \times 0.9 + \text{現場管理費} \times 0.9 + \text{一般管理費等} \times 0.68$ (設定範囲) 予定価格の 75～92%</p>	<p>職員が事前に価格に関する情報を持つ。</p> <p>最低制限価格は安定。入札参加事業者の積算技術の向上を促す。</p> <p>ダンピング対策としては最低限の基準を満たしている。</p>
		<p>国の基準を上回る基準を設定 改正後の長岡市 新潟県、上越市等</p> <p>$\text{＝直接工事費} \times 1.0 + \text{共通仮設費} \times 0.9 + \text{現場管理費} \times 0.9 + \text{一般管理費等} \times 0.68$ (設定範囲) 予定価格の 75～92%</p>	<p>職員が事前に価格に関する情報を持つ。</p> <p>最低制限価格は安定。入札参加事業者の積算技術の向上を促す。</p> <p>ダンピング対策としては、国基準に比べより有効に機能すると言えるが、最低制限価格は若干高めに設定される。 (設定範囲があるため変動型〔平均型〕ほど、極端に高く設定されることはない)</p>
変動型	変動する諸条件をもとに、入札の時点で算出する方法	<p>〔ランダム係数型〕 石川県金沢市等</p> <p>固定型で算定した金額を基準額として、特定の方式により任意に算出する方法</p>	<p>職員が事前に価格に関する情報を持たない。</p> <p>最低制限価格は変動するものの、高低の幅は少ない。価格を変動させることを目的としたもので、当然に落札者の決定を運、偶然による。現に変動型〔平均型〕で生じている課題は解消できない。</p>
		<p>〔平均型〕 現行の長岡市 佐渡市等</p> <p>実際に入札された価格の平均額をもとに算出する方法</p>	<p>職員が事前に価格に関する情報を持たない。</p> <p>最低制限価格の高低が大きく変動する。</p> <p>実際の入札結果を反映して設定されることから市場動向を反映した制度と言えるが、結果的に落札者の決定は運、偶然による。</p>